

プレスリリース

松浦浩之 *THE APPLE* 新作マルチプル作品展示会

2020年10月3日（土） - 10月17日（土）

東京画廊+BTAP | 東京

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-10-5 第4 秀和ビル 7階

TEL: 03-3571-1808 / FAX: 03-3571-7689

* オープニングレセプションは開催いたしません

この度、東京画廊+BTAP(東京)では10月3日（土）より2週間に渡り、松浦浩之のシリーズ新作となる *THE APPLE* を展示致します。

松浦浩之は1964年東京生まれ。2005年に東京画廊で開催された個展『Super Acrylic Skin』でデザイナーからアーティストへと転身し、以降、絵画、立体、版画など作品の形式を広げながら、国内外で作家活動を行っています。2017年、オランダのVolkenkund Museum（ライデン）とTropen Museum（アムステルダム）で開催された展覧会『Cool Japan: World Fascination in Focus』では、高さ4メートルの大作 *Uki-uki*（2012）を出品し、展覧会のメイン PR イメージとして使用されました。同展はその後ベルギーのMuseum aan de Stroom（アントワープ）に巡回し、好評を納めました。また現在、台北（台湾）の誠品画廊にて12年ぶりの個展となる『SUPER ACRYLIC SKIN - Quiet World』が開催中です。

松浦は2008年に *Windy Bunny Red/ USE YOUR EARS*、2018年に *Ducky Brigade* と、これまでにソフビ素材を使ったフィギュアのマルチプル作品を二度発表しています。テレビアニメの影響を受けて育ったアーティストは、子供の頃に接したソフビ人形の感覚が今でも制作の原点となっていると語っています。今回展示する *THE APPLE* では、松浦はこれまでのソフビ作品にみられた可愛い要素からは距離を置き、メッセージをよりダイレクトに伝えたかったと言います。モチーフとなった「りんご」に含まれる様々な含意は、白黒の強いコントラストのもと、大きな振幅で揺れ動き、少年の姿に捉えがたい魅力を与えています。

THE APPELE は初めにフィギュア作品として制作が開始され、ペインティングや、松浦にとって新たな取り組みであったシルクスクリーンへと展開しました。本展では、ソフビやシルクスクリーンに加え、ナイロン樹脂製のより大きなフィギュアも展示いたします。3D プリンターの技術を用いたこの作品は、現在、台湾の個展で展示中ですが、日本では初公開となります。そのほか、新作ペインティング、ドローイング作品も複数出品予定です。是非とも広報にご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大を受け、現在、営業時間を短縮しております。また、当面の間はオンライン予約による入れ替え制にてご来場者様をご案内いたします。ご予約は10月1日より弊公式HPより行っていただけます。

東京画廊+BTAP プレス担当: 鈴木佳世
e-mail: info@tokyo-gallery.com / website: www.tokyo-gallery.com

開廊時間 | (火-土) 11:00-17:00
休廊日 | 日、月、祝

東京画廊+BTAP | 東京
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-10-5 第4 秀和ビル 7階
TEL: 03-3571-1808 / FAX: 03-3571-7689
www.tokyo-gallery.com



(左) : *THE APPLE - Black* (右) : *THE APPLE - Standard* (ともに Edition 8 + 2 AP)
2020年、ナイロンファイバー、50.0 x 19.6 x 19.5 cm



THE APPLE (2020)
ソフビ
本体ソフビ=H 15.0 x 6.0 x 6.0 cm
パッケージ=H 17.5 x 8.0 x 8.0 cm
税込価格 JPY13,200.-



THE APPLE (silkscreen) (2020)
エディション 136
シルクスクリーン
80.2 x 60.8 cm
税込価格 JPY66,000.-